

日本消費者行動研究学会 第62回コンファレンス  
オンライン懇親会報告

ラウンジ名：「ニューノーマルの最先端を語ろう」

開催日：2021年5月22日（土曜日）

主催者：太宰 潮（福岡大学）・里村卓也（慶應義塾大学）・勝又壮太郎（大阪大学）

開催概要報告：

第62回消費者行動研究コンファレンスの統一論題でゲストスピーカーとして基調講演をされた白石寛樹様（三井住友カード）、奥谷孝司様（顧客時間）、矢田勝俊先生（関西大学）をお迎えし、座談会形式で統一論題に関連した議論・意見交換が行われた。

当日講演内容についての詳しい質問やコロナ禍における消費行動の議論はもちろん、クレジットカードやキャッシュレスを踏まえた業界・事例・今後の消費動向についての議論、データの分析やデータの利用可能性など、非常に有意義な議論が和やかでありながらも活発に重ねられた。

データ分析については講演内容から発展をし、その手法・環境・採用や人材育成などについて大学における現場と実務の現場が求めることなどが話し合われ、実務と大学教育という2つの場をつなぐことについてもいくつかのきっかけが生まれた。

様々な話題がどんどんと出てきて盛り上がり、時間が来たところで残念ながら議論を途中で切らなければならなかったように、ワークショップとしての価値が十二分に発揮された、貴重な機会となった。